

令和 5 年度

松戸市地域環境調査報告書



オオコノハズク
村松調査員撮影



ホオジロ
岸岡調査員撮影

松戸市 環境部 環境政策課

はじめに

野鳥は自然のバロメーターともよばれ、自然の中で、他の生き物とも様々な関わりをもって生活している生き物のひとつです。人間もまたこの自然のしくみに深く関係し、自然の恵みを受けながら生活をしています。

松戸市では「松戸市環境基本計画」（令和5年3月策定）のなかで『めざすまちの将来像』として、「①地球温暖化対策の推進、②資源循環型社会の構築、③自然環境の保全と生き物との共生、④安全・安心で快適な生活環境の保全、⑤環境学習と環境活動の推進」を掲げています。

多くの野鳥を育めるような環境を守っていくことは、私たちにとって『人と環境にやさしい持続可能なまち まつど』（松戸市環境基本計画に掲げた「めざすまちの将来像」）となるための基本目標を達成する上で必要なことです。

松戸市では、平成11年度から「地域の人達に住まい周辺の環境状況を自ら調査する機会と、地域住民が同じ目標をもって地域独自の環境作りを始めるきっかけを提供する」ための『生きもの調査』事業を開始しました。

『生きもの調査』では野鳥のほかに、蝶やトンボ、セミ、バッタなどの生息状況も調査の対象としました。

平成17年度からは、調査内容の一部を見直し、対象を野鳥に絞った『地域環境調査』を実施し、平成23年度から環境度の指標を変更しました。

また、平成27年度からは、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（平成16年法律第78号）第2条第1項に定める特定外来生物（以下「特定外来生物」という。）の他、調査員が興味を持った野生の生きもの（以下「その他の生きもの」という。）についても報告いただく体制としました。

『地域環境調査』事業は、調査員による調査結果を市のホームページで公表することで、市民の皆さまに身近な環境について知っていただき、環境や自然について考えるきっかけをつくることを主な目的としています。

目 次

1	調査目的・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	調査範囲・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3	調査の方法等・・・・・・・・・・	4
	(1) 調査期間・・・・・・・・・・	4
	(2) 調査方法・・・・・・・・・・	4
	(3) 評価方法・・・・・・・・・・	5
4	調査結果 前期（4月～9月）・・・・・	8
	各地区の点数・・・・・・・・・・	8
	近年の比較・・・・・・・・・・	9
	得点化されている野鳥の目撃された地区・・・・・	11
5	調査結果 年間（令和5年度）・・・・・	16
	各地区の目撃種類数・・・・・・・・・・	16
	月毎の目撃種類数・・・・・・・・・・	17
	近年の比較・・・・・・・・・・	18
	野鳥毎の目撃された地区・・・・・	20
6	参考資料・・・・・・・・・・	27
	○令和5年度における活動の実績・・・・・・・・・・	27
	○土地利用状況・・・・・・・・・・	29
	○特定外来生物・・・・・・・・・・	30
	○その他の生きもの・・・・・・・・・・	35
	○調査員の方からの提供写真（一部抜粋）・・・・・	37
	○地域環境調査員からの短信・・・・・・・・・・	42
	おわりに・・・・・・・・・・	46

1 調査目的

松戸市で実施している地域環境調査には次のような目的があります。

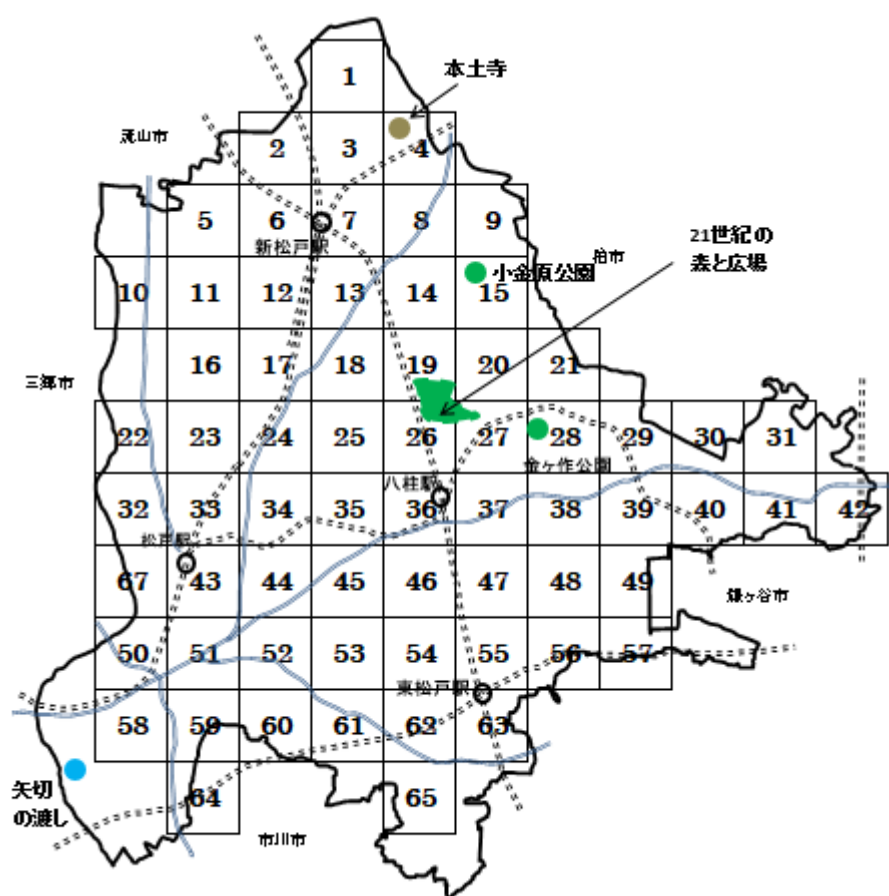
- (1) 地域の野鳥を地域の人が自ら観察・調査することで、地域の環境についての関心を高めること。
- (2) 地域で観察された野鳥の変化を経年的に捉えることで、地域環境全般の総合的な評価を得ること。
- (3) (1) および (2) により、地域環境の問題点を浮き彫りにし、地域独自の自発的な取り組みの活力を高めること。
- (4) 松戸市環境基本計画の見直し等の総合指標として活用し、環境計画推進の実効性を向上すること。

2 調査範囲

松戸市全域を図-1のように1km四方の66調査区に分け、それぞれの地区に地域環境調査員(市民ボランティア)を配置し、担当調査区域内の環境を調査します。なお、令和5年度より、地区No.67(江戸川河川敷、ふれあい松戸川、中部小学校周辺)を追加した66調査区で構成しております。

※地区No.66は、市内の野鳥観察団体(通称：66会)と混同する恐れがあることから除外しております。

図-1 調査区域図



表－1 令和５年度地域環調査（各地区の主な施設・場所）

地区 No	地 区 名	調査場所
1	幸田地区	幸田鉄塔通り、富士川・坂川沿い、幸田第１・２・３公園、浅間公園 等
2	横須賀地区	横須賀中央公園、坂川付近、大勝院、大倉記念病院、小金高校周辺 等
3	大金平地区	東漸寺、鹿嶋神社、本土寺、中金杉、広徳寺、大谷口歴史公園、大倉記念病院 等
4	東平賀地区	根本内城跡公園、富士川周辺、本土寺参道、北小金駅北口商店街、東平賀公園 等
5	新松戸地区	新松戸西小、南小、西パーク街、サンライト街区、あおぎり公園、もくれん公園、旭町田畑、稲荷大橋、坂川放水路左岸堤 等
6	新松戸地区	２番街、８番街、新松戸中央公園、けやき通り、坂川 等
7	幸谷地区	大谷口新橋、下山公園、溜脇公園、関さんの森 N02、東漸寺、山王公園、こどもの森、幸谷斜面林、新松戸第１公園、水琴橋 等
8	久保平賀地区	清ヶ丘小金公園、ユウカリ交通公園 等
9	根本内地区	根本内歴史公園及び広池学園との市境 等
10	主水新田地区	まこも池、主水新田地区、江戸川河川敷、主水池、稲荷神社、栄町・旭町田んぼ付近 等
11	旭町地区	はすだ公園、けやき公園 等
12	西馬橋地区	新坂川、相川公園、新松戸南公園、中道公園、西馬橋１～３丁目、広田公園 等
13	幸谷地区	二三ヶ丘公園、南谷公園 等
14	八ヶ崎地区	金谷寺周辺、八ヶ崎第二小学校周辺、すずめ公園 等
15	小金原地区	小金原７丁目 等
16	栄町地区	下通橋、香取神社、吉岡梨園、長津道橋(坂川)、旭小、馬橋高手前六間川、日本大学周辺 等
17	西馬橋地区	全域(ロード) 等
18	馬橋地区	中和倉公園、馬橋第二公園 等
19	八ヶ崎地区	21世紀の森と広場 等
20	栗ヶ沢地区	はくちょう公園、栗ヶ沢中、ひばり公園、貝の花小、高木小学校、千葉西病院 等
21	金ヶ作地区	金ヶ作自然公園 等

地区 No	地 区 名	調査場所
22	古ヶ崎地区	江戸川河川敷
23	古ヶ崎地区	古ヶ崎第二公園、栄町第二公園 等
24	北松戸地区	中台公園 等
25	上本郷地区	松戸運動公園、県立松戸高校周辺 等
26	千駄堀地区	21 世紀の森と広場、香取神社周辺、松戸中央霊園 周辺 等
27	常盤平地区	21 世紀の森と広場、常盤平団地 等
28	常盤平地区	金ヶ作公園、ふよう公園 等
29	五香六実地区	金ヶ作周辺 等
30	六高台地区	北丘第二公園 等
31	高柳新田地区	六高台 3～6 丁目、六実中央公園、グリーンベルト (桜並木)、六実中学校 等
32	古ヶ崎地区	江戸川河川敷、樋野口 等
33	根本地区	中町児童公園、松戸市役所 等
34	南花島地区	南花島公園、上本郷駅 等
35	松戸新田地区	稔台駅、松戸運動公園 等
36	日暮地区	千駄堀、駒形公園周辺 等
37	常盤平地区	牧の原付近 等
38	初富飛地地区	牧の原団地公園、調整池周辺、金比羅神社、しら かし公園、けやき通り 等
39	松飛台地区	松飛台小学校周辺 等
40	五香六実地区	元山駅、ふれあい公園 等
41	六実地区	スポーツ広場周辺、六実 1～3 丁目 等
42	六実地区	六実 3～5 丁目 等
43	松戸地区	坂川周辺、松戸中央公園、松戸神社 等
44	胡録台地区	松ヶ丘小学校周辺、神明神社 等
45	稔台地区	稔台工業団地、和名ヶ谷地区 等
46	稔台地区	河原塚小周辺
47	河原塚地区	八柱霊園
48	松飛台地区	八柱霊園
49	松飛台地区	松戸南郵便局 等
50	小山地区	江戸川河川敷、南部小学校、坂川、川端道他、角 町周辺等
51	三矢小台地区	戸定が丘歴史公園、千葉大園芸学部 等

地区 No	地 区 名	調査場所
52	二十世紀が丘地区	和名ヶ谷中、和名ヶ谷クリーンセンター周辺 等
53	和名ヶ谷地区	和名ヶ谷、国分川周辺等
54	紙敷地区	河原塚中学校周辺、国分川周辺、春日神社、春木川 等
55	紙敷地区	東松戸駅周辺、八柱霊園周辺、東松戸駅周辺 等
56	松飛台地区	松飛台駅、関台公園 他
57	松飛台地区	泉ヶ丘1号緑地
58	中矢切地区	野菊の墓、下矢切264周辺 等
59	三矢小台地区	三矢小台公園、寺沢公園、鴻之台公園、神明公園、矢切神社 等
60	二十世紀が丘地区	大橋公園、胡録神社 等
61	秋山地区	松戸向陽高校周辺 等
62	秋山地区	もえぎの風公園周辺 等
63	高塚新田地区	高塚十字路 等
64	矢切地区	矢切地区、栗山浄水場、立身台公園 等
65	高塚新田地区	東部市民センター
67	松戸地区	江戸川河川敷、ふれあい松戸川、中部小学校周辺

3 調査の方法等

(1) 調査期間

各年度の4月～3月末までの1年間を調査期間としています。

そのうち、春～夏の期間の4月～9月を“前期”、秋～冬の期間の10月～3月を“後期”とし、半年ごとに分けています。

表－2 令和5年度の調査期間

前期	令和5年 4月～令和5年9月（春～夏）
後期	令和5年10月～令和6年3月（秋～冬）

(2) 調査方法

調査員は、各自で選んだ担当調査区内で比較的環境度の高いと思われる（公園や神社、田畑、河川敷等）場所において、可能な回数の野鳥観察を実施します。野鳥の種類が分かったものについて○を調査票に記入し、半年ごとに事務局（市）へ報告します。

(3) 評価方法

評価にあたっては、公益財団法人日本鳥類保護連盟（以下：公財）日本鳥類保護連盟）が作成した「環境ものさし」を用いて行います。

この「環境ものさし」では、どのような環境にも生息できる鳥から豊かな自然環境にしか生息できない鳥まで、指標となるもの 50 種類選出されています。ドバトのような身近にいる鳥には 1 点、クマタカのような森林地帯にいるような鳥には 10 点など、それぞれに 1 点～10 点（表－3）の点数がつけられています。

この評価方法に基づき、観察された野鳥の合計点を算出することによって、その地域の環境度を知ることができます。

なお、「環境ものさし」では、鳥の繁殖期間にあたる春～夏（4 月～9 月）の期間が点数の対象となっています。

環境度の算出対象期間：春～夏 4 月～9 月

表－3 「環境ものさし」における野鳥の点数

10 点	クマタカ	7 点	アカゲラ	5 点	ヒバリ
9 点	アカショウビン	7 点	オオアカゲラ	4 点	コゲラ
9 点	サシバ	7 点	オオタカ	4 点	メジロ
	フクロウ	7 点	キビタキ	4 点	キジ
8 点	アオバズク	7 点	センダイムシクイ	4 点	セグロセキレイ
8 点	アオバト	6 点	ホトトギス	3 点	カワラヒワ
	ツツドリ		ヤマガラ	3 点	キジバト
8 点	クロツグミ	6 点	エナガ	3 点	シジュウカラ
8 点	コガラ		イカル	3 点	ツバメ
	ゴジュウカラ	5 点	ウグイス	3 点	コシアカツバメ
8 点	サンコウチョウ	5 点	ホオジロ	3 点	ヒヨドリ
8 点	サンショウクイ	5 点	カッコウ	3 点	ムクドリ
8 点	ミソサザイ	5 点	モズ	2 点	スズメ
	オオルリ	5 点	カワセミ	2 点	ハクセキレイ
8 点	ヤマドリ	5 点	キセキレイ	2 点	ハシボソガラス
7 点	アオゲラ	5 点	セッカ	1 点	ドバト
			オオヨシキリ	1 点	ハシブトガラス

図-2 野鳥の点数（出典：公財）日本鳥類保護連盟）



例えば、スズメを観察すれば2点になりますが、1羽でも多数観察しても同じ2点になります。また、同じ4点の枠にいるコゲラ若しくはメジロの場合には、どちらか又は両方観察しても、同じ4点のみになります。

これらの点数を合計し、点数により地域の環境度を評価します。評価の基準は点数により5段階に分かれ、環境の状態は表-4のようになります。

表-4 環境度・点数と環境の状態

合計点と環境	環境の状態
A : 121 点以上	Bまでの鳥に加え、ツツドリ、オオルリ、クロツグミのような森林性の鳥が見られるようでしたら、そこは里山から奥山化へと進んだ山地的な環境と言えるでしょう。 また、森林生態系の頂点に立つクマタカや、森に棲むカワセミの仲間であるアカショウビンが見られれば、そこは私たちの生活圏からかなり離れた、自然豊かな山地の森林です。
B : 81～120 点	Cまでの鳥に加え、ホトトギスやヤマガラ、エナガのようなまとまった森林に生息する鳥が見られるようでしたら、そこは丘陵や谷津田のある里山的な環境と言えるでしょう。 もし、サンバなどが見られれば、そこは典型的な里山です。里山は、昔から人によって利用・管理されてきた場所ですが、今では自然豊かな環境として注目されています。
C : 41～80 点	Dまでの鳥に加え、ヒバリのように草地に生息する鳥、セグロセキレイのように水辺を利用する鳥、ホオジロやモズのように林を利用する鳥が見られるようでしたら、そこは市街地から離れた広がりのある田園的な環境と言えるでしょう。 田園地帯は人によって作られた空間ですが、生物の生息に適した環境が比較的残っています。
D : 21～40 点	Eの鳥に加え、シジュウカラやメジロ、ヒヨドリなど、ある程度まとまった木々があれば生息できる鳥が見られるようでしたら、そこは市街地の中でも比較的緑のある環境と言えるでしょう。 このような緑地の多くは公園として利用されていますが、同時にそこは市街地に棲む生息空間となる重要な場所です。
E : 1～20 点	カラスやドバトのように様々な環境への順応力の高い鳥や、スズメのように人の生活に依存するような鳥しか見られないようでしたら、そこは市街地の中でも都市化の進んだ環境と言えるでしょう。 多様な生物の棲む環境としては適していません。

4 調査結果 前期（4月～9月）：環境度の評価対象期間

令和5年度前期に一羽でも野鳥の発見報告があった地区は、66地区中51地区でした。「環境ものさし」において点数化されている野鳥50種については、50種中40種の報告がありました。

報告された50種中40種の野鳥を点数化した結果、市全体での平均点は52点（前期に一度でも観察された野鳥を点数化し、報告のあった調査区数で割った平均点）となり、環境度はA～Eの5段階評価のうち松戸市としての平均はCの評価となりました。

地区毎に見てみますと、Aに属する121点以上となった地区は1地区、Bに属する81点以上120点以下となった地区は6地区、Cに属する41点以上80点以下となった地区は27地区でありました。

次の表－5に各地区の点数を示しております。

表－5 各地区の点数（4月～9月） （単位：点）

地区番号	1	2	3	4	5	6	7
調査員数	4	3	4	6	4	5	3
点数	65	41	58	65	65	46	68
地区番号	8	9	10	11	12	13	14
調査員数	—	—	4	2	4	—	2
点数	0	0	76	41	44	0	7
地区番号	15	16	17	18	19	20	21
調査員数	6	2	2	4	4	—	4
点数	45	41	29	32	49	0	64
地区番号	22	23	24	25	26	27	28
調査員数	4	2	4	2	4	2	—
点数	64	52	26	55	59	27	0
地区番号	29	30	31	32	33	34	35
調査員数	2	3	5	6	—	—	2
点数	25	33	94	166	0	0	48
地区番号	36	37	38	39	40	41	42
調査員数	4	2	—	2	6	5	1
点数	30	40	0	35	56	51	33
地区番号	43	44	45	46	47	48	49
調査員数	4	1	—	2	4	2	2
点数	40	24	0	18	84	44	25
地区番号	50	51	52	53	54	55	56
調査員数	3	3	2	2	4	2	—
点数	86	56	43	86	61	30	0
地区番号	57	58	59	60	61	62	63
調査員数	—	6	2	—	2	—	2
点数	0	103	70	0	70	0	6
地区番号	64	65	67	合計 2676 点 ÷ 51 地区 (報告のあった地区数) ＝松戸市の平均 52 点 → 環境度：C			
調査員数	—	—	10				
点数	0	0	100				

※ は、環境度がA（121点以上）の地区になります。

※ は、環境度がB（81点以上）の地区になります。

次は、令和4年度と5年度の各地区の状況を図-3及び図-4にて示しています。

図-3 地区別点数（令和4年度）

50点／環境度：C

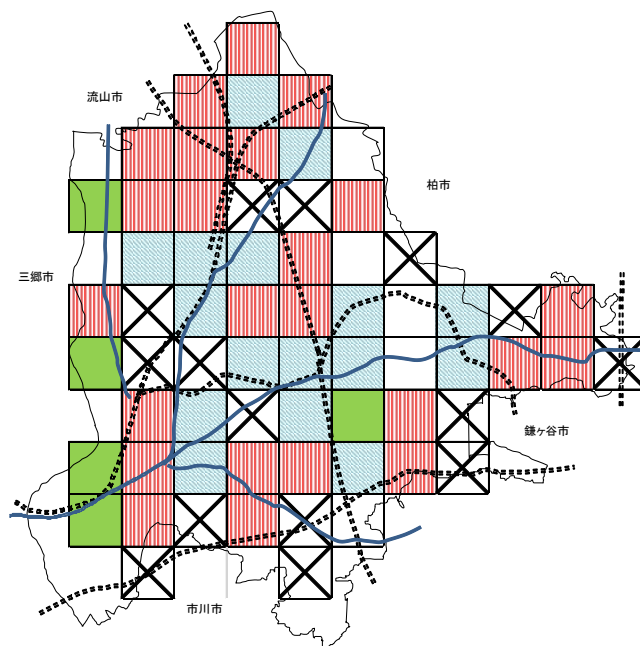
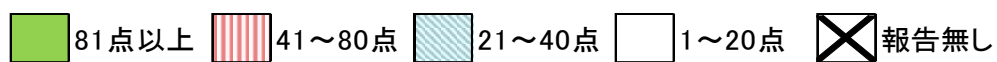
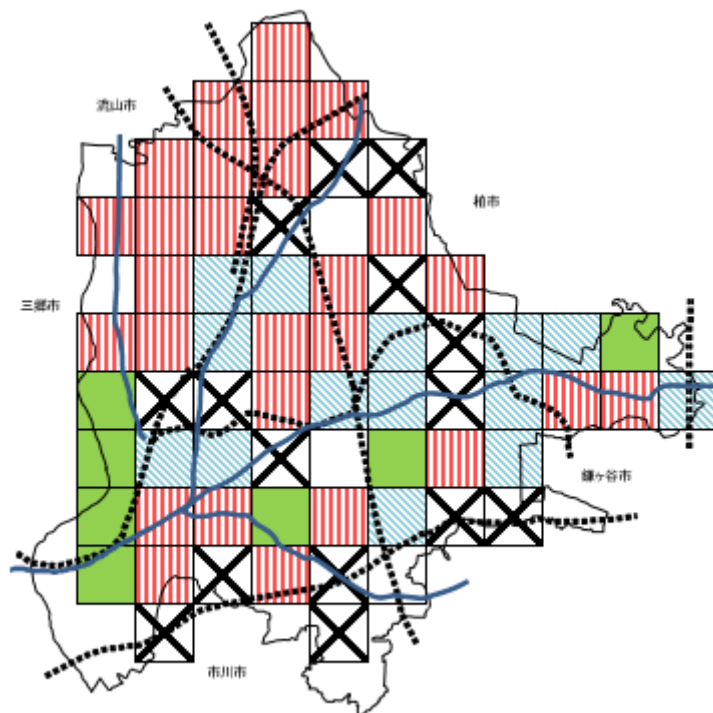


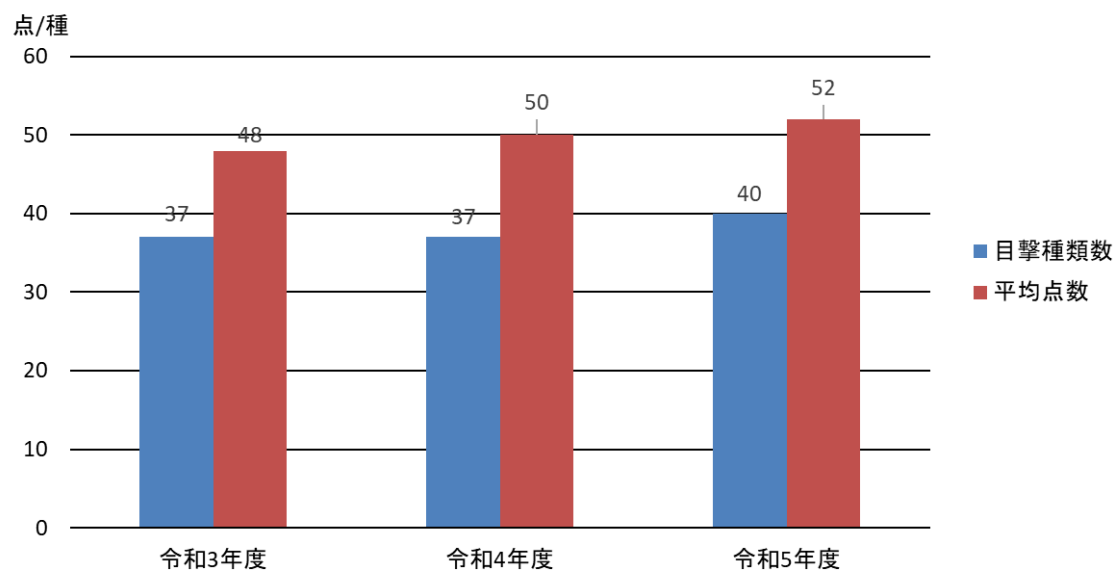
図-4 地区別点数（令和5年度）

52点／環境度：C



次は、経年の比較として3年分の日撃種類数及び平均点数を表-6にて示しています。

表-6 令和3年度～5年度（前期）における松戸市の点数等について



※目撃種類数は、得点化されている50種になります。

次は、野鳥別に目撃された地区を表－7 のとおり示しています。

表－7 得点化されている野鳥の目撃された地区

点数	写真	野鳥名	目撃された地区
1		ドバト	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 21, 22, 23, 24, 29, 30, 31, 32, 35, 36, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 58, 59, 61, 67
1		ハシブトカラス	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 18, 19, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 43, 44, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 58, 59, 61, 67
2		スズメ	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 29, 30, 31, 32, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 58, 59, 61, 67
2		ハクセキレイ	1, 2, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 18, 21, 22, 24, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 37, 40, 41, 42, 43, 44, 46, 47, 48, 50, 51, 53, 54, 55, 58, 59, 61, 67
2		ハシボソカラス	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 18, 19, 21, 22, 23, 25, 26, 27, 31, 32, 35, 37, 39, 40, 41, 43, 44, 47, 48, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 58, 59, 61, 67
3		カワラヒワ	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 21, 22, 26, 30, 31, 32, 41, 42, 43, 44, 47, 48, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 61, 67
3		キジバト	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 18, 19, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 42, 43, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67

点数	写真	野鳥名	目撃された地区
3		コシアカツバメ	1
3		ツバメ	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 19, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 29, 30, 31, 32, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 42, 43, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 58, 59, 61, 67
3		シジュウカラ	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 18, 19, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 43, 44, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 61, 63, 67
3		ヒヨドリ	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 18, 19, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 58, 59, 61, 63, 67
3		ムクドリ	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 18, 19, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 46, 47, 48, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 58, 59, 61, 67
4		キジ	1, 10, 22, 23, 32, 50, 58, 67
4		コゲラ	1, 3, 4, 5, 7, 12, 15, 18, 25, 26, 31, 32, 39, 47, 48, 50, 51, 52, 53, 55, 58, 59, 61, 67
4		メジロ	1, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 15, 18, 21, 25, 26, 29, 30, 31, 32, 33, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 55, 58, 61, 67

点数	写真	野鳥名	目撃された地区
4		セグロセキレイ	1, 12, 21, 25, 26, 31, 32, 35, 37, 53, 54, 61
5		ウグイス	2, 5, 6, 7, 10, 14, 15, 18, 19, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 31, 32, 35, 36, 37, 40, 41, 43, 47, 48, 49, 50, 51, 53, 54, 55, 58, 59, 61, 67
5		ホオジロ	1, 4, 10, 19, 22, 30, 31, 32, 47, 50, 58, 67
5		オオヨシキリ	5, 10, 11, 22, 31, 32, 50, 54, 58, 61, 67
5		セッカ	5, 10, 32, 50, 58, 67
5		カッコウ	22, 31, 32
5		モズ	1, 2, 4, 5, 7, 10, 11, 16, 19, 22, 25, 31, 32, 40, 41, 47, 48, 50, 51, 53, 54, 58, 59, 67
5		カワセミ	1, 2, 4, 6, 7, 10, 12, 16, 17, 19, 26, 31, 32, 43, 46, 50, 52, 53, 54, 58, 61, 67
5		キセキレイ	23, 32
5		ヒバリ	1, 4, 5, 10, 11, 12, 16, 22, 23, 25, 27, 32, 37, 40, 41, 42, 50, 53, 54, 58, 61, 67
6		イカル	

点数	写真	野鳥名	目撃された地区
6		エナガ	3, 5, 6, 7, 15, 23, 25, 31, 32, 35, 39, 40, 47, 50, 51, 52, 53, 54, 59, 61, 67
6		ヤマガラ	3, 4, 7, 23, 26, 31, 32, 47, 51, 53, 58, 59, 61
6		ホトトギス	26, 31, 32, 41, 67
7		アオゲラ	32
7		アカゲラ	
7		オオアカゲラ	
7		オオタカ	7, 21, 32, 50, 58, 59, 67
7		キビタキ	10, 32, 47
7		センダイムシクイ	32, 59
8		アオバズク	
8		アオバト	
8		ツツドリ	31, 32, 47, 67

点数	写真	野鳥名	目撃された地区
8		オオルリ	
8		ミソサザイ	
8		クロツグミ	
8		コガラ	35, 40
8		ゴジュウカラ	58
8		サンコウチョウ	32, 47
8		サンショウクイ	53
8		ヤマドリ	
9		アカショウビン	
9		サシバ	3, 19, 21, 32
9		フクロウ	21, 58
10		クマタカ	

5 調査結果 年間（令和5年度）

令和5年度中に一度でも野鳥の発見報告があった地区は、66地区中51地区でした。観察報告のあった目撃種類数は、年間で134種類でした。

地区毎に見てみますと、61種類以上の地区は3地区あり、41種類以上60種類以下の地区は11地区でした。

次は、表－8に各地区の野鳥目撃種類数を示しております。

表－8 各地区の目撃種類数（年間）

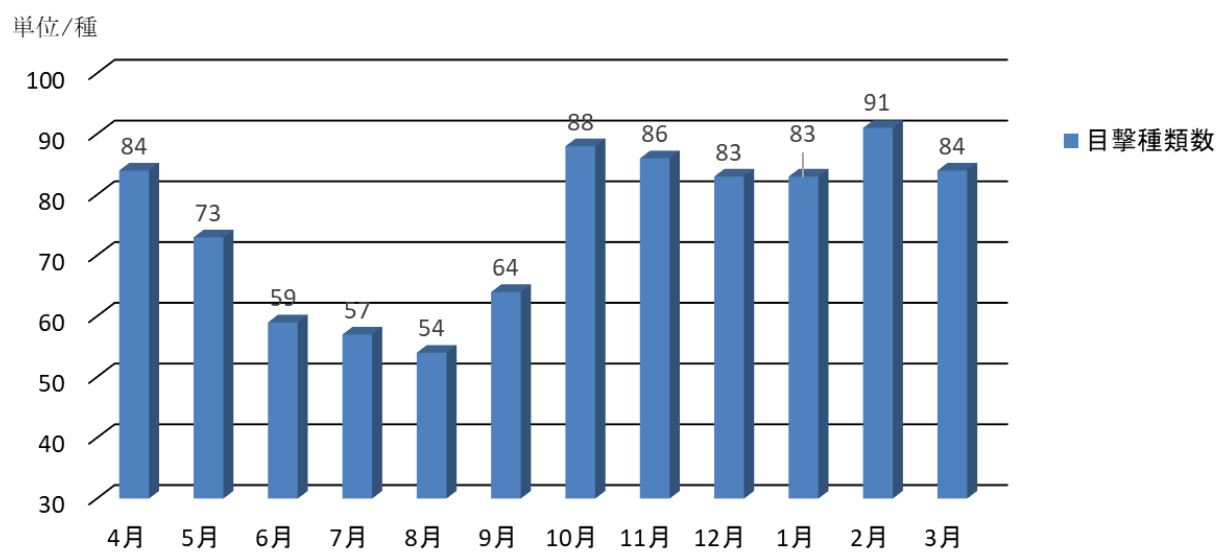
（単位：種）

地区番号	1	2	3	4	5	6	7
調査員数	4	3	4	6	4	5	3
種類数	36	33	25	46	45	32	33
地区番号	8	9	10	11	12	13	14
調査員数	—	—	4	2	4	—	2
種類数	0	0	57	29	36	0	7
地区番号	15	16	17	18	19	20	21
調査員数	6	2	2	4	4	—	4
種類数	25	29	25	17	48	0	29
地区番号	22	23	24	25	26	27	28
調査員数	4	2	4	2	4	2	—
種類数	54	28	18	21	35	20	0
地区番号	29	30	31	32	33	34	35
調査員数	2	3	5	6	—	—	2
種類数	12	13	46	103	0	0	18
地区番号	36	37	38	39	40	41	42
調査員数	4	2	—	2	6	5	1
種類数	15	15	0	16	21	21	12
地区番号	43	44	45	46	47	48	49
調査員数	4	1	—	2	4	2	2
種類数	30	11	0	19	44	26	11
地区番号	50	51	52	53	54	55	56
調査員数	3	3	2	2	4	2	—
種類数	56	25	25	51	42	22	0
地区番号	57	58	59	60	61	62	63
調査員数	—	6	2	—	2	—	2
種類数	0	68	29	0	48	0	5
地区番号	64	65	67				
調査員数	—	—	10				
種類数	0	0	80				

※ は、目撃種類数が61種類以上の地区になります。

次の表－9 では令和 5 年度における月別に目撃された種類数を示しています。

表－9 令和 5 年度における月毎の野鳥の目撃種類数



次は、令和4年度と令和5年度の各地区で目撃された種類数の状況を図-5及び図-6にて示しています。

図-5 地区別目撃種類数（令和4年度）
119 種類／年間

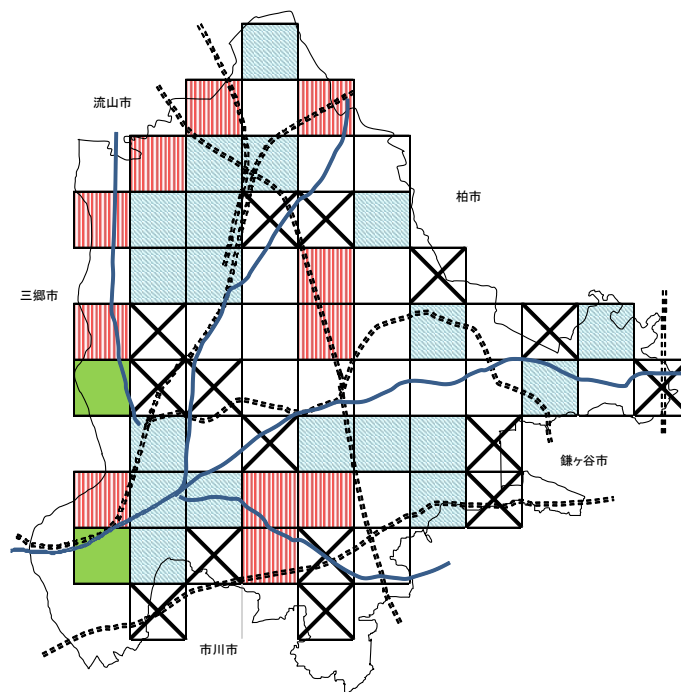
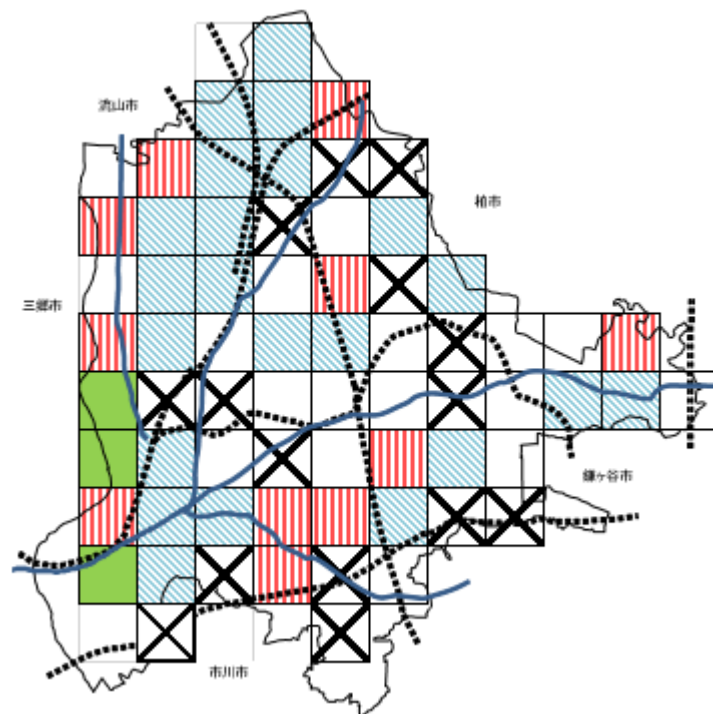


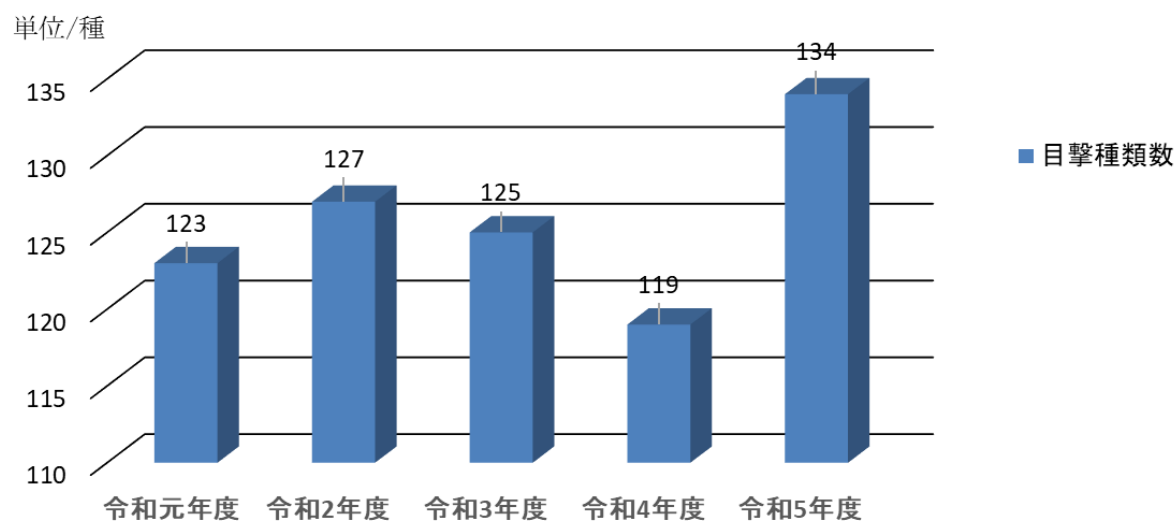
図-6 地区別目撃種類数（令和5年度）
134 種類／年間



61種以上
 41～60種
 21～40種
 1～20種
 報告無し

次は、経年の比較として5年分の日撃された種類数を表ー10にて示しています。

表ー10 令和元年度～令和5年度における日撃種類数



日撃された野鳥の種類数を比べてみると、昨年より、種類数が増加しています。年度によって調査員の経験や調査回数、調査員の配置された人数などに影響されると考えられます。

なお、観察された場所を見てみると河川などの水面・田畑・樹林地や街路樹、植林等の樹木が多いところなどで多くの野鳥が観察される結果となっています。

次の表－11 では、令和 5 年度に野鳥毎に目撃された地区を示しています。

表－11 令和 5 年度において野鳥の目撃された地区（年間）

◇以下得点の対象となっている野鳥（五十音順）

種類	地区数	目撃された地区
アオゲラ	1	32
アオバト	2	32, 47
アカゲラ	7	10, 19, 21, 31, 47, 59, 63
イカル	2	31, 32
ウグイス	40	2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 14, 15, 18, 19, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 29, 31, 32, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 43, 47, 48, 49, 50, 51, 53, 54, 55, 58, 59, 61, 67
エナガ	21	3, 5, 6, 7, 15, 23, 35, 31, 32, 35, 39, 40, 47, 50, 51, 52, 53, 54, 59, 61, 67
オオタカ	13	4, 7, 19, 21, 22, 32, 47, 48, 50, 53, 58, 59, 67
オオヨシキリ	11	5, 10, 11, 22, 31, 32, 50, 54, 58, 61, 67
オオルリ	1	47
カッコウ	4	22, 31, 32, 67
カワセミ	27	1, 2, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 16, 17, 19, 22, 24, 26, 31, 32, 43, 46, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 61, 67
カワラヒワ	37	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 19, 21, 22, 26, 30, 31, 32, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 47, 48, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 61, 67
キジ	8	1, 10, 22, 23, 32, 50, 58, 67
キジバト	52	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 18, 19, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 42, 43, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67
キセキレイ	6	4, 27, 31, 32, 56, 61
キビタキ	4	10, 32, 47, 67
コガラ	4	7, 21, 35, 40
コゲラ	32	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 12, 15, 18, 19, 25, 26, 27, 31, 32, 40, 43, 47, 48, 50, 51, 52, 53, 55, 56, 58, 59, 61, 63, 67
ゴジュウカラ	2	40, 58

種類	地区数	目撃された地区
サシバ	4	3, 19, 21, 32
サンコウチョウ	4	32, 47, 53, 67
サンショウクイ	2	47, 53
シジュウカラ	47	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 18, 19, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 43, 44, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 58, 59, 61, 63, 67
スズメ	49	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 29, 30, 31, 32, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 58, 59, 61, 67
セグロセキレイ	20	1, 4, 6, 12, 15, 17, 19, 21, 23, 25, 26, 31, 32, 35, 37, 43, 53, 54, 61, 67
セッカ	7	5, 10, 22, 32, 50, 58, 67
センダイムシクイ	2	32, 59
ツツドリ	5	18, 31, 32, 47, 67
ツバメ	45	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 16, 17, 19, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 29, 30, 31, 32, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 42, 43, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 58, 59, 61, 67
ドバト	45	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 18, 21, 22, 23, 24, 25, 27, 29, 30, 31, 32, 35, 36, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 58, 59, 61, 67
ハクセキレイ	48	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 18, 19, 20, 21, 22, 24, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 58, 59, 61, 67
ハシブトガラス	48	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 18, 19, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 43, 44, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 58, 59, 61, 67
ハシボソガラス	45	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 18, 19, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 30, 31, 32, 35, 37, 39, 40, 41, 43, 44, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 58, 59, 61, 67

種類	地区数	目撃された地区
ヒバリ	23	1, 3, 4, 5, 10, 11, 12, 16, 22, 23, 25, 27, 32, 37, 40, 41, 42, 50, 53, 54, 58, 61, 67
ヒヨドリ	50	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 18, 19, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 58, 59, 61, 63, 67
フクロウ	3	21, 32, 67
ホオジロ	15	1, 4, 10, 19, 22, 30, 31, 32, 35, 41, 47, 50, 55, 58, 67
ホトトギス	5	26, 31, 32, 41, 67
ムクドリ	49	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 46, 47, 48, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 58, 59, 61, 67
メジロ	48	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 18, 19, 21, 22, 24, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 58, 59, 61, 67
モズ	35	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 19, 21, 22, 25, 26, 27, 31, 32, 36, 40, 41, 47, 48, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 58, 59, 61, 67
ヤマガラ	27	3, 4, 5, 7, 14, 15, 18, 19, 21, 23, 26, 27, 31, 32, 40, 41, 43, 47, 48, 50, 51, 52, 53, 58, 59, 61, 67

◇以下得点の対象となっていない野鳥（五十音順）

種 類	地区数	目撃された地区
アオサギ	25	3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 15, 17, 19, 22, 23, 25, 27, 26, 31, 32, 43, 50, 53, 54, 58, 61, 67
アオジ	23	1, 3, 4, 10, 12, 19, 21, 22, 26, 31, 32, 43, 47, 48, 50, 51, 53, 54, 55, 58, 59, 61, 67
アカハラ	10	17, 31, 32, 35, 47, 50, 58, 59, 61, 67
アトリ	3	32, 47, 67
アマサギ	1	67
アメリカヒドリ	2	2, 54
アリスイ	4	10, 32, 43, 67
イカルチドリ	1	4
イソシギ	8	2, 5, 10, 12, 22, 32, 58, 67
イワツバメ	6	2, 5, 32, 53, 54, 58
ウミネコ	1	32
エゾムシクイ	1	32
オオジシギ	7	10, 22, 32, 54, 58, 61, 67
オオジュリン	2	32, 50
オオハクチョウ	1	19
オオバン	22	1, 2, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 16, 17, 19, 22, 24, 26, 32, 43, 50, 53, 54, 58, 67
オカヨシガモ	6	19, 32, 53, 54, 61, 67
オシドリ	3	19, 32, 67
オナガ	42	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 14, 15, 16, 18, 19, 22, 23, 25, 26, 29, 31, 32, 36, 37, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 47, 48, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 58, 59, 61, 67
オナガガモ	1	32
カイツブリ	18	1, 2, 4, 5, 6, 10, 12, 16, 19, 22, 23, 26, 31, 32, 50, 53, 58, 67
カケス	4	19, 26, 32, 58
カシラダカ	5	10, 22, 50, 58, 67
カモメ	3	5, 6, 12
カルガモ	30	1, 2, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 16, 17, 19, 22, 23, 24, 26, 27, 31, 32, 43, 46, 48, 50, 52, 53, 54, 55, 58, 61, 67
カワウ	25	1, 2, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 16, 17, 19, 23, 24, 26, 32, 43, 46, 50, 52, 53, 54, 58, 61, 67
カンムリカイツブリ	8	2, 5, 10, 22, 32, 50, 58, 67
キクイダタキ	1	47

種 類	地区数	目撃された地区
キンクロハジロ	4	19, 23, 32, 58
クイナ	6	4, 32, 50, 58, 61, 67
クサシギ	1	32
コアジサシ	6	10, 11, 22, 32, 58, 67
ゴイサギ	8	4, 12, 16, 17, 25, 31, 32, 50
コガモ	17	1, 4, 5, 10, 11, 12, 16, 19, 22, 26, 32, 46, 53, 54, 58, 61, 67
コサギ	22	1, 4, 5, 7, 10, 11, 12, 16, 17, 19, 22, 26, 31, 32, 43, 46, 50, 53, 54, 58, 61, 67
コチドリ	16	1, 5, 10, 11, 16, 18, 22, 26, 32, 47, 52, 53, 54, 58, 61, 67
コムクドリ	10	10, 14, 32, 48, 50, 51, 53, 59, 61, 67
シメ	14	3, 4, 7, 19, 21, 26, 31, 32, 47, 50, 51, 53, 59, 67
ジョウビタキ	28	1, 2, 4, 5, 6, 7, 12, 15, 16, 18, 19, 21, 22, 31, 32, 36, 43, 47, 48, 50, 51, 52, 53, 55, 58, 59, 61, 67
シロハラ	21	3, 7, 10, 15, 19, 22, 26, 27, 31, 32, 47, 48, 50, 51, 52, 53, 55, 58, 59, 61, 67
セイタカシギ	2	22, 32
セグロカモメ	5	10, 22, 32, 50, 67
ダイサギ	21	2, 4, 5, 10, 11, 15, 17, 19, 22, 24, 26, 32, 43, 46, 50, 53, 54, 55, 58, 61, 67
タゲリ	6	5, 10, 11, 22, 32, 58
タシギ	7	16, 31, 32, 46, 54, 58, 61
タヒバリ	8	5, 10, 22, 23, 32, 54, 58, 67
チュウサギ	10	5, 10, 12, 22, 23, 31, 32, 41, 58, 67
チョウゲンボウ	7	10, 11, 32, 43, 50, 58, 67
ツグミ	34	1, 2, 3, 4, 5, 7, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 19, 21, 25, 26, 27, 31, 32, 36, 41, 43, 47, 48, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 58, 59, 61, 67
ツミ	11	2, 4, 5, 6, 19, 31, 32, 37, 43, 47, 58
トビ	10	5, 10, 15, 21, 22, 23, 32, 50, 58, 67
トモエガモ	1	67

種 類	地区数	目撃された地区
ニュウナイスズメ	1	32
ノスリ	7	7, 10, 19, 32, 50, 58, 67
ノビタキ	2	32, 58
ハイタカ	7	19, 21, 31, 32, 50, 61, 67
ハシビロガモ	7	32, 46, 50, 53, 54, 61, 67
ハヤブサ	5	32, 50, 52, 58, 67
バン	7	4, 12, 19, 53, 54, 58, 61
ヒドリガモ	18	1, 2, 4, 5, 6, 7, 10, 16, 22, 32, 43, 46, 50, 53, 54, 58, 61, 67
ビンズイ	1	47
ベニマシコ	5	1, 10, 32, 50, 58
ホシハジロ	10	10, 22, 32, 50, 53, 54, 55, 58, 61, 67
マガモ	14	4, 12, 19, 22, 24, 26, 31, 32, 46, 53, 54, 58, 61, 67
ミサゴ	3	10, 32, 67
ムナグロ	5	5, 11, 32, 58, 67
ユリカモメ	12	2, 6, 10, 12, 16, 22, 23, 24, 32, 50, 58, 67
ヨシガモ	2	4, 32
ルリビタキ	2	27, 53
イソヒヨドリ	9	2, 4, 6, 22, 32, 50, 53, 58, 61
クロジ	1	32
コサメビタキ	2	47, 67
トラツグミ	1	47
ウソ	1	47
ショウドウツバメ	1	32
シロチドリ	1	54
アメリカヒドリ	2	2, 54
マヒワ	1	23
ホオアカ	1	32
ニシセグロカモメ	1	22
ヒクイナ	4	4, 32, 53, 61
オオコノハズク	1	6
ガビチョウ	3	10, 32, 67

種 類	地区数	目撃された地区
ヒメアマツバメ	2	10, 47
クロガモ	1	23
マミチャジナイ	1	47
オオセッカ	1	7
ブッポウソウ	1	17
アカガシラサギ	1	19
シラサギ	1	31
タマシギ	1	58

参考資料

○令和5年度における活動の実績

松戸市地域環境調査研修会

日 付 令和5年11月7日（火）

場 所 松戸市勤労会館 会議室 BC

内 容 令和4年度地域環境調査報告会

野鳥観察に関する研修会 「野鳥観察のためのポイント」

講 師 公益財団法人 日本鳥類保護連盟 松永 聡美 様

参加者 27名（一般公募参加者含む）



第1回松戸市地域環境調査野鳥観察会

日 付 令和5年11月9日（木）

場 所 21世紀の森と広場

内 容 野鳥観察

参加者 19名



第2回松戸市地域環境調査野鳥観察会

日 付 令和6年1月27日(土)

場 所 江戸川河川敷(ふれあい松戸川)

内 容 野鳥観察

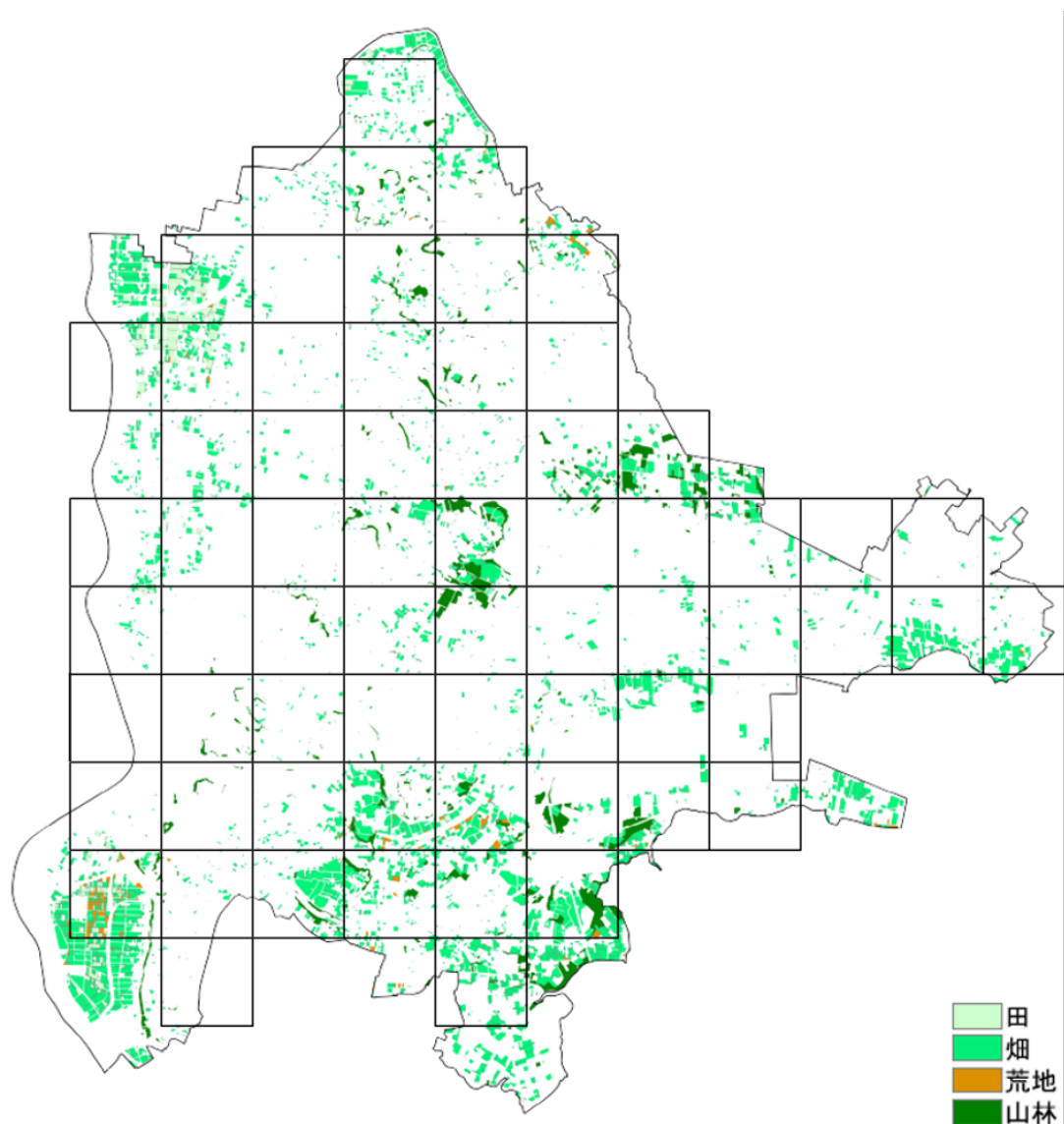
参加者 18名(一般公募参加者含む)



○土地利用状況

土地利用状況調査は、平成 17 年度から平成 21 年度にかけて、調査員自身に野鳥観察とは違った目線で、地域の環境を知ってもらえるのではないかと目的から実施していましたが、平成 23 年度からは都市計画基礎調査より土地利用現況を掲載しています。

図ー8 土地利用状況



○特定外来生物

平成 27 年度から地域環境調査などでの活動において、特定外来生物やその他の生きものを目撃した際には、調査員の方に報告をお願いしているところです。

「**特定外来生物**」・・・外来生物（海外が起源のもの）のうち、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から環境省において指定されたものをいいます。

特定外来生物は、生きているものに限られ、個体だけではなく、卵、種子、器官なども含まれます。また、原則として飼育・栽培・保管・運搬することが禁止されています。

目撃した場合には、写真を撮影の上、環境政策課に連絡いただくか、松戸市ホームページに専用のフォームがありますので、必要事項を入力の上、投稿してください。

専用フォーム

【松戸市 TOP⇒くらし⇒環境⇒自然環境⇒外来生物⇒特定外来生物の目撃情報投稿フォーム】

アドレス：

http://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/kankyou/shizenkankyo/mokugeki_jyohou.html

(1) 市内で確認されている特定外来生物（一部抜粋）

・アライグマ



ペットとして飼われていたものが野生化した結果、生態系や農作物などに深刻な被害を与えています。見かけによらずどう猛な性格をしています。

大きさ	体長 40～60 cm、尾が 20～40 cm 全体で 60 cm～1m位になります。
特 徴	尾のしま模様が最大の特徴です。模様がなければ違う生きものです。

・アカミミガメ



アカミミガメは飼育下での寿命が 30 年ととても長生きです。成長すると甲羅の部分だけでオスは 20 センチメートル、メスは 30 センチメートル近くまで大きくなります。

※令和 5 年 6 月 1 日から条件付特定外来生物に指定されています。

大きさ	最大背甲長はオス 20 cm、メス 30 cmにも達する。
特 徴	甲はゆるやかなドーム状、頭部の両側に橙赤色の斑紋がある。

・オオキンケイギク



5月～7月頃にかけて咲き、道端や河原などに生息します。強靱なため一度定着すると他の在来植物などの生育場所を奪ってしまいます。

大きさ	草丈は 30～70 cm程度
特 徴	黄橙色の花びら、花びらの先端がギザギザ

・アレチウリ



一年生のつる植物で、開花期は8月～10月になります。全国の河川等で繁茂し、他の植物がほとんど生育しないなどの恐れがあります。

大きさ	長さは、数メートルから十数メートルに及ぶ
特 徴	葉がハート形の手のひらサイズ、ツルからは3～4本の巻きひげ

(2) 千葉県内で確認されている特定外来生物

今のところ市内で確認はされておりませんが、近隣市では確認されたものもいます。定着等を防ぐためにも調査の傍ら、目撃した場合には、情報提供をお願いいたします。

千葉県内で確認記録のある特定外来生物一覧					(令和 5 年 3 月 31 日 現在 43 種)	
哺乳類	1	アカゲザル	昆虫類	25	アカボシゴマダラ ★	
	2	アカゲザル交雑種		26	セイヨウオオマルハナバチ	
	3	マスカラット		27	アカカミアリ	
	4	アライグマ ★		28	ヒアリ	
	5	キョン	甲殻類	29	ウチダザリガニ	
鳥類	6	カナダガン	クモ類	30	セアカゴケグモ ★	
	7	ガビチョウ	軟体動物	31	カワヒバリガイ	
	8	カオグログビチョウ ★	植物	32	オオキンケイギク ★	
	9	カオジログビチョウ		33	ミズヒマワリ	
	10	ソウシチョウ		34	オオハンゴンソウ	
爬虫類	11	カミツキガメ ★		35	ナルトサワギク	
	12	ハナガメ		36	オオカワヂシャ	
	13	ハナガメとニホンイシガメの交雑種		37	ナガエツルノゲイトウ ★	
	14	ハナガメとクサガメの交雑種		38	アレチウリ ★	
両生類	15	ウシガエル ★		39	オオフサモ ★	
魚類	16	オオタナゴ		40	オオバナミズキンバイ	
	17	コウライギギ		41	ボタンウキクサ	
	18	チャネルキャットフィッシュ		42	アメリカオオアカウキクサ	
	19	カダヤシ ★	43	ナガエモウセンゴケ		
	20	ブルーギル ★				
	21	コクチバス		★市内で確認しているもの		
	22	オオクチバス ★				
	23	ストライプトバス				
	24	ショートノーズガー				

※「令和 5 年度千葉県環境白書」から抜粋

(3) 近年話題になった特定外来生物

・ヒアリ（千葉県内確認あり）



南米中部原産で、日本には港湾などのコンテナに紛れるなどして見つかっています。攻撃性が強く、巣などに刺激を与えると集団で襲いかかります。

大きさ	2・5mm～6mm程度 体の色は全体的に赤茶色
特 徴	背中に2つのこぶ。
備 考	在来のアリの中にも体が赤茶色のアリはいます。赤茶色だからといって必ずしもヒアリとは限りません。

・セアカゴケグモ（松戸市内確認あり）



地面や人工物の裏など日当たりの良い暖かい場所に営巣します。攻撃性はありませんが、むやみに近づくと噛まれる恐れがあります。

大きさ	メスは大きさが1 cm程度、脚を広げると約3 cm。オスはその半分
特 徴	メス：背中に縦に赤い斑紋有り。 オス：斑紋無し。

○その他の生きもの

地域環境調査では、先に挙げた特定外来生物の他、調査員の方が興味を持った生きものなどについても報告をいただいているところです。

調査の傍ら、気づいた生きものや珍しい生きものがいましたらご報告いただいています。

＜トンボの目撃情報＞

7 地区	コシアキトンボ・オニヤンマ・アカトンボ・チョウトンボ・ギンヤンマ
19 地区	シオカラトンボ・コシアカトンボ・ギンヤンマ・ショウジョウトンボ・チョウトンボ・オニヤンマ・アカトンボ
21 地区	ホソミオツネントンボ・ホソミイトトンボ
26 地区	シオカラトンボ・コシアカトンボ・オニヤンマ・チョウトンボ・アカトンボ
27 地区	コシアキトンボ・アカトンボ
37 地区	チョウトンボ
47 地区	アカトンボ・コオロギ
67 地区	ハグロトンボ・コトブキトンボ・コシアキトンボ・シオカラトンボ

＜蝶の目撃情報＞

7 地区	ベニシジミ・ヤマトシジミ・モンシロチョウ・モンキチョウ・アカタテハ・アカボシゴマダラ・
18 地区	アオスジアゲハ・モンシロチョウ・オオルリアゲハ
19 地区	モンシロチョウ・アオスジアゲハ・クロアゲハ・シジミチョウ・モンキチョウ・キアゲハ
21 地区	カラスアゲハ・アサギマダラ
26 地区	モンシロチョウ・クロアゲハ・アオスジアゲハ・シジミチョウ・モンキチョウ
27 地区	モンシロチョウ・モンキチョウ・クロアゲハ・シジミチョウ・アオスジアゲハ
47 地区	アゲハチョウ・クロアゲハ・シジミチョウ・モンキチョウ・モンシロチョウ

〈その他生きものの目撃情報〉

7 地区	ハナアブ・ユスリカ・ナナホシテントウムシ・トノサマバッタ・ツリアブ・イエバエ・キンバエ・イチモンジセセリ・ショウリョウバッタ・スズメバチ・ウラギンシジミ・ハラビロカマキリ・アブラゼミ・ミンミンゼミ・ツクツクボウシ・アオカナブン
18 地区	カタツムリ・バッタ・トカゲ・ヤモリ・ニホンカナヘビ・コフキコガネ・ナナホシテントウムシ・カマキリ
19 地区	ツクツクボウシ・アブラゼミ・カナヘビ・アカミミガメ・クビキリギリス・コオロギ・アオマツムシ
22 地区	ヤブキリ・クサキリ・ウマオイ・ツユムシ・クビキリギス・ヒメギス・カヤキリ・ササキリ・カンタン・カネタタキ・エンマコオロギ・ツツレサセコオロギ・ミカドコオロギ・オカメコオロギ・マダラスズ・シバズ・クサヒバリ・ケラ・クダマキモドキ
25 地区	アブラコウモリ
26 地区	ミシシippアカミミガメ・ウシガエル・シマヘビ・トカゲ・ニイニイゼミ・ミンミンゼミ・ツクツクボウシ・アブラゼミ・カマキリ・ツユムシ・アオマツムシ・コバネイナゴ・サワガニ・ミシジマイマイ
27 地区	ニイニイゼミ・ツクツクボウシ・アブラゼミ・コオロギ・ツユムシ・アオマツムシ
31 地区	ミドリガメ
32 地区	イタチ・アカギツネ・コウモリ・タヌキ
37 地区	ヤモリ・ニホントカゲ・セジロスズメガ（幼虫）
39 地区	ヘビ
40 地区	コウモリ
42 地区	ハクビシン・ヤモリ・ナミエテントウ・タマムシ
43 地区	ハグロトンボ
47 地区	ニイニイゼミ・ミンミンゼミ・アブラゼミ・ツクツクボウシ・コオロギ
58 地区	イタチ・キツネ・タヌキ
61 地区	アオダイショウ・タヌキ
67 地区	イタチ

○調査員の方からの提供写真（一部抜粋）

調査員の方から報告のあった野鳥の写真を紹介します。



ダイサギ

撮影者：小松調査員

ツバメ

撮影者：吉田調査員



キジ

撮影者：平調査員



イソシギ

撮影者：前島調査員

ジョウビタキ

撮影者：村松調査員



セグロセキレイ

撮影者：平調査員





オナガ

撮影者：岸岡調査員

アオサギ

撮影者：咲花調査員





チョウゲンボウ

撮影者：村松調査員



メジロ

撮影者：前島調査員



ヒドリガモ

撮影者：塚原調査員

ヒバリ

撮影者：岸岡調査員



キツネ

撮影者：吉田調査員

○地域環境調査員からの短信 （一部抜粋）

地域環境調査では年2回（半年に1回）、調査員が事務局へ調査票を提出していただきます。その中で調査員から市へ短信が寄せられることがあり、身近な環境の変化や出来事を報告していただいています。ここでは、それらの一部をご紹介します。

令和5年度調査員短信（前期）

地区	
2	・小金中隣地に分譲マンション建設が始まり、野鳥への影響が懸念されたが、オナガ、カワラヒワ、キジバト、ウグイス、メジロなど、小金中の樹木で観察できた。
7	・新坂川、大谷口～水琴橋間には浮遊ごみが堆積し、サギ類・カワウなどが寄りつけぬ事態が昨年来続いている。
11	・去年から5月にアマサギが来るようになりましたが、鳥の種類は減少しています。
21	・常盤平駅から徒歩10～15分位のところに「松戸里やま応援団」から生まれた（囲い山やまの森）、（金ヶ作野中の森）、（三吉の森）4つの樹林と森など豊かな環境が点在し、又、金ヶ作自然公園、市営金ヶ作育園もある環境。 ・8月にもウグイスの鳴き声を聞き、里山環境を楽しんだ。 ・ボタンクサギに集まるカラスアゲハの群飛は圧巻であった。
22	・松戸市でも貴重な田圃がある場所として古ヶ崎だったが、新築家屋の造整で田圃が殆ど無くなった。以前はカエルの声が聞こえて他の小動物も居た為、サギ類、シギ類が群れをなしてやってきた。今はその姿さえ見られなくなり、寂しい限りである。
22	・4月下旬になるとオオヨシキリが鳴き始め6月になると、江戸川の草むらでジージーと幼鳥の鳴き声が各所で聴こえるようになります。6月24日（土）の夕刻にはグランドゴルフ場の草むらで4羽の幼鳥が枝に留まり餌をねだっていました。また、別日には日中の暑い日差しの中母鳥が暑さに耐えながら餌を撮りに行く様子も観察されました。5月、昨年に引き続き、今年もカッコウが鳴きながら、江戸川を行ったり来たりしていました。おそらく、カッコウは托卵するオオヨシキリの巣を探していたのでしょう。古ヶ崎にはわずかに残された田んぼがあります。今年はその半分だけ田植えがされ、残りは水を張ったまま放置されていました。年々ここに飛来する鳥は減少していますが、サギやカルガモがいるだけでもうれしい気持ちになります。7月30日、その場所には2羽の大きさの違う白鷺が降り立っていました。1羽は大型のダイサギで、もう一羽は夏鳥のチュウサギのようでした。よく見てみるとダイサギには足環がついていました。山階鳥類研究所に報告したところ、その足環は2018年5月19日に市川市行徳鳥獣保護区で雛につけられたものだそうです。8月31日、足環のサギがいた場所に行くと稲刈りが終わっており、田んぼの半分のエリアは重機が入り盛土工事が進められていました。

30	・大部分に田畑（空地含）が残り、また、史跡となる馬除け堤が六高台方面迄続き、大樹が林立している。六高台8丁目付近は大規模開発による戸建てとマンションが実在している。
31	・クリーンセンター横の貯水池でツミが何度か見られました。いつも観察する時間帯でしたが、時間を変えればもっと見られるかもしれません。
31	・4/4 午前10時頃、六高台ヨークマート脇マンション敷地内にて捕食中のタカを目撃。しばらくその場にとどまった後、獲物を持ちすぐ脇を飛び去った。 ・クリーンセンター脇貯水池には、色々な野鳥が飛来する。カワセミがいる辺り、小魚がいるのであろうが、どんな魚が生息しているのか興味がわいた。ミドリガメ多数おり残念。ミズヒマワリ、オオキンケイギクも生えていた。もう少し環境を整えたら、更にほかの鳥を呼ぶ事ができるのかなと思う。葦の林は鳥達の絶好のかくれ場所になっていた。
32	・ふれあい松戸川付近にウサギを捨てる方がいました。知り合いの方に保護されましたが、昨年捨てられていたそうです。
32	・箆抜け鳥で繁殖が著しいガビチョウが松戸にもやって来た。 ・アカギツネ登場。モグラをくわえて食べていた。松戸にはいる筈のない動物だ。
36	・この暑さのためか例年に比べて鳥を見かけることが少ない。ネコは定住していて鳥も狙う。ハクセキレイ、オナガも見られなくなった。ドバトの数は増えた。
36	・この地区の緑が減っているのでしょうか。以前は近くから聞こえたウグイスの声が、今年は遠くから聞こえました。
43	・例年梅雨から初秋にかけての6月から10月の期間に、目視観察によりハグロトンボの生息数を記録しています。これまでは例年、1回の目視観察により20匹程度のハグロトンボを見つけました。2023年度は、長期間に渡る猛暑と少雨により、ハグロトンボの生育を心配しましたが、9月上旬に実施した観察により、例年以上の26匹の生息を確認しました。
54	・10年ほど前から観察を続けています。これまで多い年は3~4地点で見つけることが出来たキジが今年はとうとう見ることが出来ませんでした。この環境調査が、野鳥環境の向上に役立つことを期待しています。
55	・6月のカルガモ、ダイサギは空をとんでいたものです。カルガモ？今となってはほんと？と言う気もしますが。
58	・休耕田でタマシギ発見。10年間観察していて初めての事。 ・農家の高齢化に伴い耕作地が放棄され荒れている。言いかえれば自然に帰っている野鳥の住み場所としては良いかも。
67	・今年のふれあい松戸川は排水ポンプの故障で流れが悪く水質が汚れた為、水生植物のトンボ類が極端に減った。ハグロトンボ、コトブキトンボ、コシアキトンボ、シオカラトンボは健在。

令和5年度調査員短信（後期）

地区	
4	1月下旬、富士川でヒクイナを見た。このリストには載っていない。
22	・江戸川の河川敷は秋になると素晴らしい虫の鳴き声が聞こえます。キリギリスの仲間が夕暮れ時になるとあちらこちらから大合唱が始まります。特にクビキリギリス、ヤブキリは大きな音色で続いてウマオイ、ツムシ等も耳をすませば嬉しいほどよく聞こえます。コオロギの仲間は明け方まで鳴き止まず、子供の頃の我に帰った思いにひたります。
22	・田んぼや畑エリア、六間川周辺には特段珍しい冬鳥はいませんでした。タゲリを最初で最後に見たのは2018年2月のことです。田んぼエリアは縮小され、建設の準備がされてきています。11/19盛土工事がされた場所の水たまりで、ハクセキレイが水浴びをしていました。
29	・近所の木が少なくなったためか、鳥が少なくなったようです。
32	・江戸川河川敷にある「ふれあい松戸川」のある箇所では外来危惧にあげられる「ミズヒマワリ」が生えています。この植物、花が咲くころに必ず蝶の「アサギマダラ」がやってきます。不思議な植物で、今迄何処にも飛んでいなかった「アサギマダラ」が何処からともなくやってきて、この白い花の蜜を吸引して数日滞在して南の国へ渡っていきます。相当の誘引物質を放しているに違いありません。季節は彼岸花が終わった10月頃で、いくらか朝夕ひんやりした頃です。
32	・秋になるとヨシガモ、マガモ、コガモなどが群れで飛んでくる光景が観察されました。首筋をスッと伸ばして飛ぶ姿はとても美しいです。江戸川河川敷干潟、砂利エリアでは今まで見られなかったセグロセキレイの姿が、9月頃から増加しており、幼鳥も見られるようになりました。12/21 予定より早く江戸川の草刈りが行われました。いつも小鳥が集まってくるふれあい松戸川の木が丸見えになってしまい、以降あまり小鳥は集まって来なくなりました。また、樋野口水門の橋の脇にあった木も伐採されてしまいました。こちら32エリアから67エリアに移動するときによく留まっていた木でした。伐採される木の基準が知りたいです。
36	・相変わらずネコは多い ・鳥の数は以前より減少
40	・五香南のお宅の庭では朝も夕もムクドリが庭木の枝に何羽も群がっています。余程鳥にとって環境がよいのでしょうか。以前は”農林鳥”と呼ばれる程益鳥であったそうですが、近年都市に順応する鳥の代表になっています。ムクドリ、ヒヨドリが想像以上に記録されました。
51	・11月から3月末まで柿の木台公園で再整備工事が行われた。樹木の一部伐採、藪草の部分刈り取りがおこなわれ、この場所で例年越冬していたウグイスが見られなかった。千葉大園芸学部の笹藪でも刈草が行われ、ここでもウグイスの姿が見られなかった。

54	・国分川土手沿いの樹木が、桜（ソメイヨシノ）を残して伐採され、小鳥のエサとなる木や隠れたりする木がすっかりなくなっていました。周辺の雑木林も資材置き場となってしまう、毎年見ることのできたキジとオオタカは二年連続見ていません。
55	・10月に八柱霊園でウグイスがホーホケキョと鳴いていて少々驚いた。11月、ダイサギが雨の中空を飛んで行った。紙敷桜通り、交差点近くの崖には草が茂っていてアオジのお宿になっているようだった。シロハラも時々見られるし、霊園からも鳥が飛んで来るようだ。崖の上はここ2,3年耕作放棄地になっている。けれどこの土地も開発され、霊園側と同じようなコンクリート壁になってしまえば、もう鳥たちはやってこないだろうと思う。残念だ。
58	・矢切の歴史遺産、旧坂川の景観は素晴らしく、富士山が見え小説に出てくる情景が浮かんできます。川沿いに植栽されている桂の木にオオタカが羽を休め、増えすぎたドバトを間引いています。葱畑には「イタチ・タヌキ」殊にキツネを見ることがあります。蒲の田圃に今年初めて「タマシギ」を確認しました。
67	・ふれあい松戸川の遊歩道に生える葦原ほとんどが刈られてしまい、葦原を住まいとする小鳥が減っているように思える
69	・「ふれあい松戸川」沿いの大がかりな除草（バリカン）が行われ数年溜まっていたごみ等が取り払われヨシ原の更新に良い結果が出ることを望んでいます。野鳥観察には些か丸見えなので心配されましたが、さほどダメージもなく、野鳥は何時もどおりやって来て大きな効果がありました。

おわりに

平成 11 年度から始まった「生きもの調査」は、平成 17 年度から「地域環境調査」と形を変えて、令和 5 年度も報告書としてまとめることができました。

ご協力をいただいた調査員の皆様には、この場をお借りして御礼申し上げます。

この調査は市民の皆さんによるボランティアで実施しており、調査員の知識や経験、また各調査地区における調査員の人数や、調査頻度、調査場所、時間帯、天候等によっても観察結果に差が生じると考えられます。

そのため、今回報告された結果において、一概に報告の少ない地域が必ずしも野鳥が少ないとは判断できず、前後の調査結果も踏まえて傾向を把握していく必要があると思われます。少なくとも今回報告のあった野鳥が存在する、若しくはそれ以上の野鳥が存在する可能性は否定できないと考えられます。

松戸市環境基本計画で掲げる「めざすまちの将来像」の創造は、調査員や環境ボランティアの方々にとどまらず、そこに住む市民一人ひとりが地域の環境について知り、関心を高め、自ら行動することから始まります。

この調査が多少なりとも足掛かりとなれば幸いです。

※調査結果は、後日、松戸市のホームページからご覧いただけます。

市ホームページのトップページから【ホーム ⇒ くらし ⇒ 環境 ⇒ 松戸市地域環境調査 ⇒ 地域環境調査結果】と進んでください。

アドレス：

https://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/kankyou/shizenkankyo/tiiki-tyouasa/chiikikankyou_kekka.html



松戸市地域環境調査報告書

令和 6 年 10 月

○発行 松戸市

〒271-8588

松戸市根本 387 番地の 5

TEL : 047-366-1111

URL : <http://www.city.matsudo.chiba.jp/>

○編集 松戸市 環境部 環境政策課

TEL : 047-366-7089

FAX : 047-366-8114

イラスト提供：公益財団法人 日本鳥類保護連盟

令和 6 年 10 月 31 日発行

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針の判断の基準を満たす用紙を使用しています。

総合評価値 80

古紙パルプ配合率：100%

白色度：82%

